

農作業特報

黒 部 市
黒 部 市 農 業 技 術 会 議

水稻の生育は概ね良好に推移しています。今後は根量を増やし、過剰な分けつを抑えるため、「溝掘り・中干し」を実施しましょう。

1 中干しに入る前に、確実に排水ができる溝を作る

中干しやその後の間断かん水を効率的に行うため、早急に溝掘りを行いましょう。

- ① 土が軟らかいと掘りにくいので、事前に軽い田干しを行う。
- ② 溝は5mに1本を目安とし、水がたまっているところを重点的に掘る。
- ③ 枕地側の短辺にも溝を掘り、長辺に掘った溝と確実に連結する。
- ④ 溝は水尻に確実に連結する。



溝がしっかり残っている。



土が軟らか過ぎ、形が崩れている。

2 中干しは、田植えの1か月後を目途に開始する

中干しは田植後1ヶ月を目安に、田植の早いほ場から開始しましょう。

【中干しの効果】

- ① 土壌中の有害ガスを除去し、根の生育を健全にする。
- ② 過剰な分けつの発生を抑える。
- ③ 葉が立ち、稲の受光姿勢が良くなる。
- ④ 田面が硬くなり、コンバイン作業に備えることができる。

【中干しの程度】

中干しは5～7日間程度行い、田面に小さな亀裂が入り、田んぼの長靴の跡がつく程度まで干しましょう。

過繁茂になりやすい水田
乾きにくい湿田

田面に大きな亀裂が入るまで強く干す

乾きやすい砂地の水田

一度に強く干さず、田面に小さな亀裂が入る程度まで干す



中干しの程度

足跡が残る程度



3 中干し後の水管理

しっかり田んぼが干せた後は、幼穂形成期頃(7月上旬頃)まで「間断かん水」を行いましょう。

◆**間断かん水の目安：1日湛水、2～3日落水。湛水時はヒタヒタ水で。コシヒカリで、茎数が多く葉色が濃い場合は、落水期間を長くし、やや強めに干しましょう。**

4 エスアイ加里の施用

ケイ酸やカリは稲体や根の活力を高め、背白・基白粒の発生を軽減する効果があります。作付前に土壤改良資材を施用していない場合や基肥一発肥料を使用している場合は、追肥で補いましょう。

肥料名	施用時期	施用量
エスアイ加里特号	6月20日頃～	15kg/10a